

平成29年度 食育・地産地消推進に関する取組み

1 「福井のごはんを食べて強くなろう！運動」の推進

「福井しあわせ元気国体・大会」や「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催等により、県民のスポーツへの関心が高まっている。このような背景のもと、スポーツに取り組む福井の子ども達や県民が大会などにおいて最高のパフォーマンスを発揮できるよう、大切なエネルギーとなる「お米」や福井のおいしい食材で応援し盛り上げるとともに、「スポーツ栄養」を通じて食育・地産地消を推進する。

○スポーツをする子ども達を「ふくいのおにぎり」で応援企画の実施

6月食育月間 エネルギー補給の「補食」として福井のお米と特産品でつくるおにぎりを紹介
県内スーパーと直売所46店舗でおにぎりレシピ掲載のチラシを配布

◎スポーツ食育・栄養に関する講座等の開催

ご飯を中心としたバランスの良い食事と適度な運動・休養が、スポーツができる身体づくりや健康維持に有効であることを学ぶ

- 10月14日 福井の地産地消スポーツ弁当お披露目会 トークショー
トークテーマ「福井のごはんを食べて強くなろう！」
＜対象者＞ 一般県民
＜ゲスト＞ 元陸上競技長距離種目 ロス五輪出場選手 増田明美氏
＜コーディネーター＞(株)しよくスポーツ代表 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏
- 11月11日 ふくい味の祭典ステージ企画 トークショー
トークテーマ「食事から始まる体作り」
＜対象者＞一般県民
＜出演＞ ロス五輪 バレーボール銅メダリスト 三屋裕子氏
＜ゲスト＞愛媛国体 ビーチバレー優勝 村上・幅口ペア
- 11月11日 スポーツを頑張る子どもの食育講座
＜対象者＞福井市内少年野球チームの保護者等
＜講師＞(株)しよくスポーツ代表 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏
＜内容＞ 講義「スポーツする子どもの食事の基本スタイルについて」
実演「練習疲れを吹き飛ばす食事メニューの紹介」
実習「運動前後のおすすめ補食のおにぎりづくり」

㊦「福井の地産地消スポーツ弁当」の推進

ご飯を中心とした食事の大切さと、福井の食材について関心を高めることを目的に福井の食材を使用した、スポーツする身体づくりに適したお弁当を推進。

- 6月24日 スポーツ弁当プロジェクト第1回会議の開催
各分野の代表、専門家を構成員としたプロジェクト始動
＜内 容＞ スポーツ弁当の商品化に向けたルール等を検討
- 7月24日 「福井の地産地消スポーツ弁当」商品化研修会の開催
＜対象者＞ 企画に賛同する弁当製造事業者
＜指導者＞ スポ弁PJアドバイザー・公認スポーツ栄養士 しばたてるみ 氏
＜内 容＞ スポーツ弁当の商品化ルールの説明
スポーツ栄養学に基づいたお弁当づくりのポイント指導
- 8月29日 スポーツ弁当プロジェクト第2回会議の開催
プロジェクト構成員による事業者からの応募弁当審査
(認定にむけた改善案の提示)
- 10月14日 「福井の地産地消スポーツ弁当」お披露目会の開催
11事業者から応募の認定弁当15品を一般県民に披露（試食交え）
- 11月11・12日 「福井の地産地消スポーツ弁当」初売り
ふくい味の祭典での事業者による認定スポーツ弁当の販売
- 12月9・10日 「福井の地産地消スポーツ弁当」PR
・国体プレイベントでのスポーツ弁当PR展示、クイズ実施
・出展スポーツ競技団体への試食アンケートの実施
- H30年2月5日 スポーツ弁当プロジェクト第3回会議の開催
「福井の地産地消スポーツ弁当」推進の経過報告と今後の展開について
意見交換

2 「ふくいの食育リーダー」の活動促進

地域に密着した食育や地産地消に係る専門的な課題に対応できる人材として育成した「ふくいの食育リーダー」（平成26年度～27年度の2年間：165名認定）の活動促進に向けて、PRやフォローアップ事業を実施

○認定者と活用制度の周知

地域や各種団体における食育や地産地消の研修会等に「ふくいの食育リーダー」を活用してもらうため、認定者名と活動分野、活用方法、活用する場合の補助制度等を紹介したパンフレットを作成し、各地域の公民館、小中学校等へ配布。また、「くらしの情報ふくい」に食育出前講座の実施を掲載し、県民に広く周知

○「ふくい食育リーダー」活動のPR

「ふくい 味の祭典」（11月11、12日開催）において「ふくいの食育リーダー」PRブースを設置し、各リーダーが地域で取り組む食育・地産地消活動（食文化伝承、農業体験指導、世代に応じた食生活指導等）の様子を写真パネルで県民へ紹介。また、「ふくいの食育リーダー」統一ロゴを作成し、各認定者が名刺や資料等で活用推進

○フォローアップ研修会の開催

「ふくいの食育リーダー」の能力向上と活動促進につなげることを目的とした研修会を開催。関係部局と連携し活動展開の参考となる研修会等の情報を提供し参加を促した。

10月14日（土）「福井の地産地消スポーツ弁当」お披露目会

- <内 容>スポーツ栄養学の視点からご飯の力を学ぶトークショー
- <ゲスト>元陸上競技長距離種目 ロス五輪出場選手 増田明美 氏
- <コーディネーター> 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ 氏

11月16日（木）「ふくい和食フォーラム」

- <内 容>和食と食育について学ぶ講演、パネルディスカッション
- <講 師>和食文化国民会議会長 龍谷大学教授 伏木 亨 氏

3月16日（金）「ふくいの食育リーダー」フォローアップ研修会

- <内容>「第3次ふくいの食育・地産地消推進計画」制定に向けて意見交換
- <講師・アドバイザー> 榊食 STORY 代表取締役 米倉れい子 氏

3 世代に対応した食育の推進

「ライフステージに応じた食育推進事業」により実施

事業メニュー	内容
未就学児と親子を対象とした「はじめての食育」活動	3市町(福井市、大野市、若狭町)の幼稚園等(計6団体)で実施
小学校への農業体験学習	3市(福井市、坂井市、小浜市)の26小学校83学級で実施
小・中学生を対象とした味覚(基本五味)を学ぶ授業	7市町(福井市、坂井市、鯖江市、大野市、越前町、若狭町、おおい町)の公立小・中学校および奥越特別支援学校(87校194学級)で実施
高校生を対象とした食材を知る授業	坂井高等学校、奥越明成高等学校、奥越特別支援学校、丹南高等学校、科学技術高等学校(5校22学級)で実施
ふくい食育リーダーを講師とした食育出前講座	地域公民館、こども会育成会、地区婦人会等の食育・地産地消関連企画に、延べ25人派遣

○スポーツを頑張る子供や家族への「スポーツ食育」【再掲】

月日・場所	対象・参加人数	内容
10月14日(土) 産業会館 本館	一般県民 300名	スポーツ弁当お披露目会トークショー ＜テーマ＞ 福井のごはんを食べて強くなろう！ ＜ゲスト＞元陸上競技長距離種目 ロス五輪出場選手 増田明美氏 ＜コーディネーター＞ 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏
11月11日(土) 産業会館 2号館	一般県民 100名	味の祭典ステージ企画 トークショー ＜テーマ＞食事から始まる体作り ＜出演＞ロス五輪 バレーボール 銅メダリスト 三屋裕子氏 ＜ゲスト＞愛媛国体ビーチバレー優勝 村上・幅口ペア
11月11日(土) 生活学習館 調理室	福井市内少年野球 チームの保護者等 34名	スポーツを頑張る子どもの食育講座 ＜内容＞ ・スポーツする子供の食事基本を学ぶ講義 ・県産食材を使ったメニューの実演・実習 ＜講師＞ 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏

4 地場産学校給食の推進

○6月「食育月間」および11月24日「和食の日」における「地場産100%和食給食」

5月16日 市町教育委員会・農林担当課へ実施協力依頼（文書通知）

5月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

6月2～30日 県内公立全小・中学校で「地場産100%和食給食」の実施

8月25日 県域地場産学校給食推進会議の開催

<対 象>流通関係者（市場、JA）、

学校給食関係者（栄養教諭、スポーツ保健課）、農林総合事務所

<内 容>主要農産物の県内流通推進について

9月8日～21日 学校調理現場における食材の納入に関する調査の実施

<対 象>県内公立学校給食共同調理場（22センター）

<内 容>学校給食調理場における食材納入に関する調査

10月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

11月6日～24日 県内公立全小・中学校で「地場産100%和食給食」の実施

11月24日 和食特別授業の実施

<場 所>南越前町立今庄小学校

<内 容>敦賀の昆布と北前船を通じただしの歴史

<テーマ>「だし」について知ろう

<講 師>（株）奥井海生堂 代表取締役 奥井隆 氏

〔(一社)和食文化国民会議 理事〕

F' S LaBo 室長 清水知美 氏

随時 地域別地場産給食推進会議（各農林総合事務所毎に開催）

<対 象>流通関係者（市場、JA）、学校関係者、農林総合事務所、

<内 容>地場産食材を用いた和食給食メニューの開発や使用率向上に向けた対策について協議

○平成29年度地場産食材使用率（調査結果状況）

＜H29年度年間合計＞	地場産学校給食実施校数	全校達成
	地場産食材使用率（重量ベース）	44.7%
	地場産食材使用品目数	27.4品目
＜H29年6月調査結果＞	地場産学校給食実施校数	275校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	43.8%（6月期過去最高）
	地場産食材使用品目数	27.1品目（6月期過去最高タイ）
＜H29年11月調査結果＞	地場産学校給食実施校数	275校（全校達成）
	地場産食材使用率（重量ベース）	45.5%
	地場産食材使用品目数	27.6品目

5 野菜食（地産地消）と共食推進を目的とした「ふく囲鍋（ふくいなべ）」の普及

鍋は、旬の野菜や食材を多くとることができることにより栄養バランスが良く、地産地消にも貢献できるものであることから、季節の福井の味覚をふんだんに取り入れ、野菜食と共食をすすめる「ふく囲鍋」の普及を推進

○主な啓発運動

ふくいの食材を味わう鍋料理のキャッチフレーズ → ふく囲鍋（ふくいなべ）		
期間	場所	内容
10月8日	福井放送（株） （大和田げんき祭）	「ふく囲鍋」（ふくいポークを使ったキムチ鍋）提供
10月16日 ～20日	県庁ホール	「ふくい味の週間」パネル展示で、「ふく囲鍋」チラシを配布
11月 11、12日	県産業会館	「ふくい味の祭典」で「ふく囲鍋」提供 11日（土）かに鍋 12日（日）越前おでん鍋
12月8日 ～3月2日	県庁食堂	毎週金曜日に「ふく囲鍋」メニュー提供 回数：10回 すきやき鍋、海鮮水炊き鍋、ピリ辛トマト鍋など

6 米の消費拡大に向けた取り組み、朝ご飯推進を目的とした「ふくい

朝ごはんキャンペーン」(県とJAグループ)の実施

○主な啓発活動

期間	場所	内容
4月～	福井テレビ	毎日午後7時の時報(5秒)前に30秒のCMを放映 ・「ふくい朝ごはんキャンペーン編」他
4月24～28日	福井県立大学永平寺 キャンパス	学食で「ふくい朝ごはん」を食べよう!キャンペーン ・大学とタッグを組み「ごはん食」の大切さを訴える とともに、地元産の食材を使った朝食を提供
6月～11月	県内JA	JAふれあい特産市(ハピテラス〔福井市にぎわい交流施設1F屋根付き広場〕ほかファーマーズマーケット7箇所で開催) ・旬の食材を使った汁物のふるまいと合わせ、新ブランド米「いちほまれ」の試食を実施
7月19～28日	福井県立大学永平寺 キャンパス、福井大学 文京キャンパス	学食で「ふくい朝ごはん」を食べよう!キャンペーン ・大学とタッグを組み「ごはん食」の大切さを訴える とともに、地元産の食材を使った朝食を提供
10月3日	県内主要駅等	新米「いちほまれ」おにぎり配布 ・県内の主要駅など21箇所、通勤・通学客らに新米で作ったおにぎり約4,000個を一斉に配布
11月11日	福井県産業会館	ふくい味の祭典 ・新ブランド米「いちほまれ」の試食と併せて、JA女性組織協議会による「朝ごはん」等がススム逸品メニュー(10月7日に開催した「福井の美味しい食材 料理コンクール入賞メニュー」)の提供

7 「ふくい 味の週間」「ふくい 味の祭典」の実施

㊦ 「つなごう福井の食」による展開（9～11月）

「故郷ふくいの食材や食文化を継承していく」ため、この趣旨に賛同する各市町で開催される食関連イベントとの連携し、以下の事業を実施。

- ・ イベントに出展する自慢の食材や郷土料理をPRパンフ・チラシで紹介
- ・ 共通のぼり旗をイベント会場で設置
- ・ 各イベントを周回してもらうため、イベント会場にスタンプを設置し、「ふくい 味の祭典」で景品が当たるスタンプラリー抽選会を実施

○ 「ふくい 味の週間」期間の取組み（11月5～12日）

- ・ 県内量販店協賛フェアの実施

10月28日～11月12日

県内スーパー（ハニー、ヤスサキ、ハーツ各店）で「ふくい 味の週間」コーナーを設置して、県産食材と食品企業商品を活用した「オリジナル地産地消レシピ」の提供とレシピ動画放映

○ 福井の食の偉人（秋山徳蔵氏）のPR

11月6日～ 「秋山徳蔵ゆかりのメニュー」を県公共施設併設飲食店
11月30日 6店舗および司厨士協会会員店10店舗で提供

○ セイコガニの食べ方授業

11月10日

～17日 中学3年生を対象にセイコガニの食べ方を学ぶ授業を実施

○ 福井の食を通じた「和食」の普及推進

11月16日 第3回「ふくい和食フォーラム」をハピリンで開催
(150名参加)

○ 「ふくい健幸美食」認証メニューの提供協力店のPR

飲食店版、惣菜版認証メニューの提供店舗 290店舗

○ 「おいしいふくいの食べきりの日」協力店のPR

- ・ 食べきりサービス実施飲食店舗 61店舗
- ・ 食べきりの日啓発協力、食品販売店舗 71店舗

○「ふくい 味の祭典」の取組み（11月11日・12日）※

- ・三屋裕子氏、ビーチバレー国体優勝村上・幅口ペアによるスポーツと食事に関するトークショー
 - ・「福井の地産地消スポーツ弁当」の販売
 - ・DEAN&DELUCA COOKING CLASS 料理教室
 - ・福井の食の偉人（石塚左玄、秋山徳蔵）のPRコーナー
 - ・目指せ29.1m! はぴりゅう巻き寿司づくり
 - ・郷土食展示、いちほまれと郷土食の味わいコーナー
 - ・県内農林漁業者や6次産業従事者等PRコーナー 他
- ※ふくいそば打ち団体戦、「福井 技の祭典」と共同開催となり、来場者数は2日間で3万5千人となった。

○第11回全国高校生食育王選手権大会の取組み（11月12日）

- ・予選大会の実施

9月13日（水）、15日（金） 16:00～18:00

同一高校の3名1組のチームがインターネット上の予選サイトにアクセスし40問の食育クイズに回答する方式で、全10チームを選抜

→ 2日間で全国37都道府県320チームのエントリー数は過去最多

<参考>平成27年度実績：38都道府県 309チーム

平成28年度実績：33都道府県 314チーム

- ・決勝大会の実施（県産業会館2号館「キッチンスタジアム」）

11月12日（日）9:30～16:00

テーマ「和食でスポーツを応援しよう！」

<競技1>食育体感クイズ 5題

<競技2>食育チャレンジ対決 課題「補食として機能するおにぎり」

<競技3>テーマに合わせて高校生たちが考案した弁当のプレゼンテーション、調理試食

【結果】

第11代食育王（石塚左玄賞）・農林水産省食料産業局長賞

北海道三笠高等学校（チーム：ななかまど）

<本県からの決勝参加チーム>

奥越明成高等学校（準食育王）、若狭東高等学校

8 その他の取り組み

○「第2回 ふくいのおんぼでスマイル」写真コンテスト

将来を担う子ども達や県民に農業の大切さや魅力を伝えることを目的に、子どもが農業を手伝っている様子やおんぼや畑に親しんでいる様子を写した写真コンテストを実施

<応募期間> 4月17日～9月29日

<応募作品数> 122点

○福井県農産物直売所ネットワークの活動

・ふるさと知事ネットワーク直売所交流フェア

開催時期	開催場所	取扱い商品
9/4～9/10	福井県内4直売所	7県の農産物を使った6次化商品等

・「ふくい 味の祭典」への出店（4店舗）

・ふくいのおんぼ直売所めぐりスタンプラリーの実施

10月1日～31日・19店舗

応募者の中から抽選で約80名に福井県の特産品をプレゼント

○「ふくいのおんぼ・地産地消ランチ」提供

ランチ名	提供場所	実施期間	概要
女子栄養大学 ランチ	県庁食堂	11月13日（月） ～11月17日（金）	県が「食と健康」に関する提携協定を結んでいる女子栄養大学の発行する「学食メニュー集（各年発行）」をもとに健康テーマを設定し、1週間分のランチメニュー（主食、主菜、副菜、汁およびデザート）を作成し提供
	議会食堂 あすわ	2月5日（月）、 20日（火）～23日（金）	
仁愛大学 ランチ	県庁食堂	11月27日（月） ～12月1日（金）	福井県産品を使用し、かつ栄養バランス等を考慮したランチメニューを仁愛大学の学生が考案し「仁愛大学ランチ」として提供
ふく囲鍋 ランチ 【再掲】	県庁食堂	12月8日（金）～ 3月2日（金）までの 毎週金曜日 (祝日・特別メニュー提供期間を除く)	季節の福井の味覚をふんだんに取り入れ、野菜食と共食をすすめる「ふく囲鍋」のレシピを参考に、12月8日（金）～翌年3月2日（金）までの毎週金曜日に「ふく囲鍋ランチ」の提供を行う。